

1. 検証結果と基本構想への反映

【検証結果：空間の使われ方や駅周辺のニーズの確認】

駅前空間の活用ニーズや、駅前や自由通路における人々の活動変化が確認できた

- ・市民から飲食・物品販売やマッサージ体験や手作りワークショップ等、31 件の企画応募と約 1,270 人の来場があり、多目的に自由に使える空間・場のニーズが確認できた。
- ・来場者から幅広く多様な活用ニーズが確認でき、本取組では実施していないアクティビティの需要も確認できた。

企画応募者として本取組への関与や来場により基本構想の周知につながった

- ・企画者向け事前説明会の実施や会場での周知パネルの設置により、駅周辺地区整備に向けた取組を幅広く周知できた。

【基本構想への反映：創出すべき空間・場の規模感の検討】

歩行者の安全性を考慮した十分な歩行空間を確保したうえで、本取組で創出した空間よりやや広め（約 3,000 m²程度）のニーズを確認

- ・空間規模は全体の約 62%が「満足・やや満足」と回答しており、概ね満足度が高いものの、子どもの遊び場や発表ステージは本取組で創出した空間よりやや広い空間規模を求める意見があった。
- ・発表ステージの観客スペースや企画ブース前に、人が溢れる様子がみられ、歩行者の通行が困難な様子もみられた。
- ・広場には車が通行しない安全に配慮された空間、発表ステージには屋根が欲しいという意見も多数確認できた。

【実施概要・趣旨】

■ 企画概要

西口駅前広場の一部道路で交通規制を行い、9/27(土)、9/28(日)の2日間、一部の作品展示企画はその後1か月間実施した。

来場者数：約 470 人（1日目）、約 800 人（2日目）

【西口駅前広場】

- ◆「駅周辺でやってみたいこと」を募集し、実践する場（応募件数：31 件）
 - ・市民から募集した企画や事務局によるワークショップの実施
- ◆市民、観光客を含め、多世代過ごせる場
 - ・イス・テーブル、ハンモック等の滞留空間や子どもの遊び場の創出

【自由通路】

- ◆「駅周辺で情報発信したいこと・もの」を募集し、試行する場
 - ・市民の作品展示や基本構想の周知パネル設置

【東口改札前】

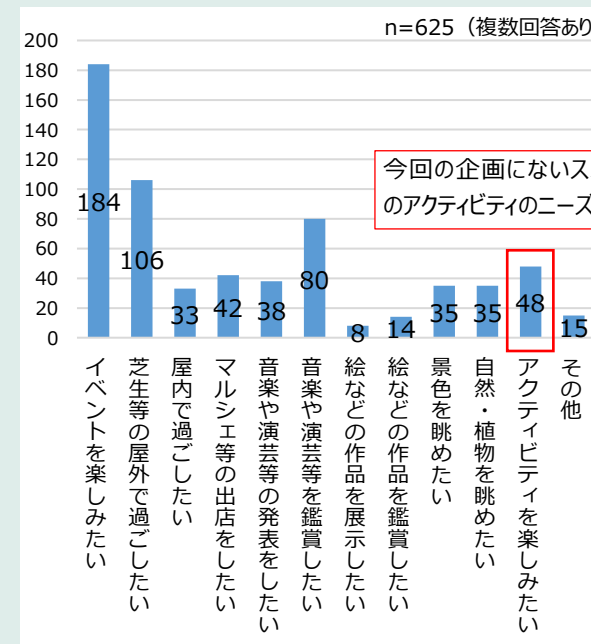
- ◆駅周辺観光資源や西口駅前広場への案内サイン・パネルの設置
 - ・まちなかの主要観光地まで誘導するため、はがせる路面シートを設置
 - ・基本構想の周知や社会実験の西口会場へ誘導するパネルを設置



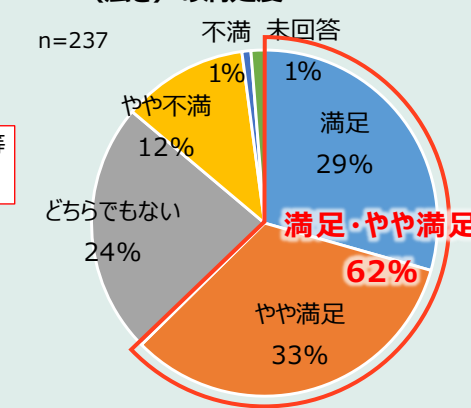
【検証結果：空間の使われ方や駅周辺のニーズの確認】

検証手法：アンケート調査、滞在者数・滞在状況調査

Q 駅周辺の空間を使って、自分だったらどのように過ごしますか



Q “自由で使いやすいオープンな広場と快適な滞在空間”の空間規模（広さ）の満足度



【空間規模に対する主な自由意見】

- ・自動車が入れず、いろいろなコンテンツができるようもう少し広い空間が良い
- ・子どもたちが安全に遊んで走り回れる空間として、もう少し広い空間が良い
- ・発表スペースも観客スペースももう少し広く、屋根があると良い
- ・芝生広場はゆっくり休むにはちょうどよくて、使い方もすごい満足



観客スペース外から鑑賞する人

緑地部の日陰で飲食を楽しむ様子

【基本構想への反映：創出すべき空間・規模感の検討】

現西口駅前広場面積：約 3,500 m²

西口駅前広場（交通ロータリー以外）：約 2,900 m²



多目的で自由に使える空間面積：約 810 m²
 リラックス空間面積：約 330 m²

歩行空間：

現駅前広場の最大幅員と同幅員を確保（10m）

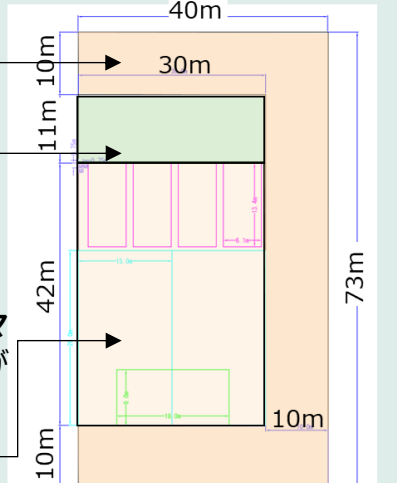
リラックス空間：

エリアチャレンジと同規模

多目的に使える空間：

エリアチャレンジから、人が溢れていた“ライブパフォーマンス”や“子どもの遊び場”を拡大、アンケートで希望があった「アクティビティ空間」等が可能な規模を確保（エリアチャレンジの 1.5 倍程度）

多目的で自由に使える空間面積：約 1,260 m²
 リラックス空間面積：約 330 m²
 歩行空間：約 1,330 m²



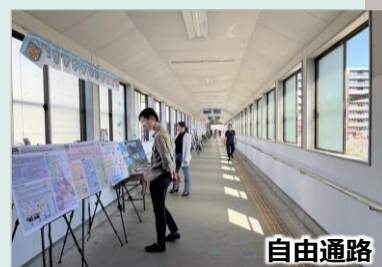
凡例
 バスケットコート
 バドミントンコート
 ステージ・観客席
 人



西口駅前広場



東口改札前



自由通路

